

# 働くことを軸とする 安心社会の実現に向けて



「誰一人取り残されることない」  
社会の実現を目指します

連合愛知は毎年、働く人・生活者の立場から「働くことを軸とする安心社会実現のための政策要望書」を策定、提出し、愛知県や愛知労働局に対して行政施策への反映を求めています。また、地域協議会においてもすべての県内市町村に対して、同様に要望書を提出しています。

## 連合愛知 2020年度政策要望の取り組み

### 政策立案の取り組み

重点的な政策課題に関連する施設を視察するとともに、5月に「地域政策推進フォーラム」を開催して、構成組織や連合愛知政策推進議員より意見集約を行い要望書を策定。また6月には新政あいち県議団とも政策内容のすり合わせを行いました。



障がい者雇用の取り組み状況視察



フードバンク活動支援の現状視察

### 政策実現に向けた取り組み

7月に愛知県大村知事への要望書を提出した後、地協を通じて各市町村へも要望書を提出。愛知県に対しては、8月に県の担当者との意見交換を行うとともに重点政策については10月に大村知事と再度、意見交換を行いました。



大村知事に佐々木会長から要望書を手渡し



各自治体への  
要望書提出



地域政策推進フォーラムや新政あいち県議団との政策懇談会では、議員から県や市町村の課題や事例を聞き政策の作りこみを実施

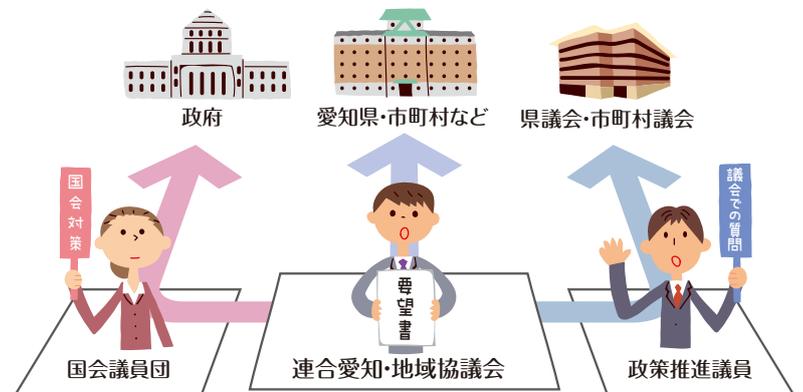


要望内容に関して愛知県担当者と意見交換



知事との懇談では職場や地域の声を具体的に伝えた

### ◆ 要望提出の流れ



### Q. なぜ政策・制度の実現に取り組むの？

A. 労働組合は、賃金や労働条件の維持向上、職場改善などの取り組みを行っていますが、私たちが安心して豊かな暮らしを送るためには、職場を改善するだけではよくなりません。子ども・子育て、医療や介護、防災や防犯など、地域の課題を解決するため、働く人・生活者の声を集めた「要望書」を連合愛知が策定し、行政施策に反映するべく取り組みを進めています。

### Q. どうして議員と連携する必要があるの？

A. 政策制度は県議会・市町村議会で議員が参加して決定します。そのため、私たちの声や課題を理解して議会に届けてくれる仲間の議員と連携することで、政策制度を実現できるからです。



私たちの日々の仕事や暮らし

# 私たちの仕事や暮らしの安心につながる政策が実現しました

連合愛知の要望により、2021年4月から愛知県で実施される施策について一部紹介します。

## 誰もが安心して働ける 環境づくり



- 若年者の就業を支援するため、県内市町と連携した就職相談や中小企業経営者との交流会が行われます。
- 就職氷河期世代に対する就職支援講座や企業向け雇用促進セミナーが行われます。
- 外国人労働者を含む外国人県民が安心して生活できるよう、相談窓口や多言語での情報提供が強化されます。
- 障がい者が安心して働けるよう、テレワークを活用した就労支援への取り組みが行われます。
- ひとり親家庭の親の就労支援をするため、家賃の貸付が行われます。
- 中小企業テレワーク導入を推進するため、サポートセンター設置による支援体制が強化されます。

## 医療・福祉の充実



- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、PCR検査体制が強化されました。
- コロナワクチン接種に対する不安を解消するため、相談窓口が強化されます。
- コロナに対する差別や偏見を防止するため、「愛知県新型コロナウイルス感染症対策推進条例」が2020年10月に施行されました。
- 介護従事者の労働環境を改善するため、ICT導入のための補助金が増額されます。
- 認知症介護家族の負担軽減に向けて、相談窓口や支援体制が強化されます。

## 子ども・子育て支援の充実



- すべての小中学校で児童生徒1人1台のタブレット端末が整備されます。
- 全国より先行して小学校第3学年に35人学級の拡充が行われます。
- 子どもを虐待から守るため、休日夜間の児童相談センターに専門職員の相談体制が強化されます。

## 安全に暮らせるまちづくり



- 災害避難所において要配慮者に必要な備蓄品の拡充が行われます。
- 自転車交通安全教育の推進と児童・生徒、高齢者を対象にヘルメット購入に要する費用を市町村と協調して助成が行われます。

※実施される時期は地域によって異なります。

